

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス ここっとnico		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 26日		2026年 2月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 9
○従業者評価実施期間	2026年 1月 26日		2026年 2月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもや保護者様との意思の疎通や情報伝達のための配慮を行っている。	施設内での出来事や、その際の対応方法についてしっかりと状況説明を行いながら共有を行うことを心がけている。	子どもや保護者様とのコミュニケーションを引き続き取りながら、相違が起きないように心がけていく。
2	個人情報の取扱いに十分考慮している。	写真撮影等で対象児童以外の顔や名前が映り込んでいる際には、必ず隠した写真を配信していること。併せて、作業スペース等に子どもの個人情報はおかないこと。ご見学や外部の方が来られる際には、名前を隠し個人情報が漏れないように配慮している。	引き続き、全職員が個人情報の保護についての意識を持ち業務にあたる。
3	安心して通うことが出来る施設であること。	普段の関わりや施設内の雰囲気づくりについて、子ども達が笑って安心して過ごせるよう職員一同心がけている。	引き続き、安心して通うことが施設となるよう改善点等あれば都度職員間で考え、改善していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様同士の関わる機会を設けられていないこと。	送迎時間の分散や保護者様の就労状況等により、保護者様同士が交流できる機会を十分に設けられていない。	イベント等で参加しやすい形式での機会を作り、希望制で実施できるよう検討していく。
2	家族支援プログラム(ペアレントトレーニング)が浸透できていないこと。	日々の面談や送迎時の共有、リトム等を通して支援方法の共有は行っているが、体系的なペアレントトレーニングとして十分に浸透できていない点が課題としてあげられる。	・実践後の振り返りの機会を設け、効果や課題を共有する。 ・個別支援計画と連動させ、継続的なフォロー体制を整える。 ・職員間で支援方針を統一し、伝達内容の標準化を図る。
3	放課後児童クラブや児童館との交流やその他地域での他の子どもと関わる機会が少ないこと。	安全面への配慮や日々の療育活動の充実を優先してきたことにより、外部交流の機会が限定的となっている。	今後は、無理のない範囲で段階的に地域とのつながりを広げていく取り組みを検討していく。